

利用にあたっての具体的な対策（感染防止対策の徹底）

施設管理者が実施していること

- 咳エチケット、手洗い、マスク着用など感染予防策の周知（館の入口張り紙）
- 毎回、利用前の施設消毒の実施（利用者が共通に触れる器具、設備等）
- アルコール消毒液の設置（1階エントランス）
- 施設内に3密回避の周知、啓発の徹底（啓発看板の設置）
- 発熱等の症状がある人に来場を控えるよう要請（施設掲示）
- 定期的な見回り等による呼びかけ、注意喚起
- 記名（氏名、電話番号、健康異常あり・なし）の実施（※別紙、「施設利用者名簿」を使用）

講師が実施すること

- 講師の健康管理。発熱等の症状がある講師は欠席する。
- マスク着用の徹底。（発音の学習など、視覚的に口元を見せる必要があれば、フェイスシールド着用の徹底）
- 発熱等の症状がある人に参加を控えるよう要請（開催前に参加者に伝える）
- 席の配置を工夫し、3密回避の徹底
- こまめな（概ね30分に1回程度）換気の実施（可能な場合は開放状態で開催）
- 記名（氏名、電話番号、健康異常あり・なし）の実施（※別紙、「施設利用者名簿」を使用）

利用者（講師を含む）が実施すること

- 自宅等で必ず検温し、発熱等の症状がある場合は利用を自粛
- 会館に入る際、アルコール消毒液にて手の平を消毒
- 相互接触（握手、肩を組む等）の禁止
- 咳エチケット、手洗い、マスク着用など感染予防策の徹底
- こまめな（概ね30分に1回程度）換気の徹底（可能な場合は開放状態で実施）
- 記名（氏名、電話番号、健康異常あり・なし）の実施（※別紙、「施設利用者名簿」を使用）